



第3号

平成23年12月27日(火)



発行 制活編集支援室
http://www.smt.jp/thinkingtable/

タテのカギ

1. 早口言葉、○○○○○特許許可局長の許可不許可。(5文字)
2. ハッピーターンでおなじみ亀田製菓、その本社があります。(4文字)
3. きりたんぼが美味しい。(3文字)
4. 日本で唯一、塩分を含む川が流れる。(4文字)
5. カーブ。(4文字)
6. とんかつといえばソースではなくみそ。スパゲティといえばあんかけ。喫茶店では過剰なモーニングサービス。(3文字)
7. 伊達政宗がひらきました。(3文字)
8. お笑い芸人 はなわの歌で有名。(2文字)
9. 首都東京に次ぐ日本の第二都市。全国からあらゆる食材が集まる「天下の台所」。たこ焼きの発祥地。(4文字)
13. 西郷どんといえば？(4文字)
16. ♪アイスクリームの発祥地♪(4文字)
17. ほうれん草の生産量が一番。(2文字)
18. 「納豆(710年)くうなら、平城京」(2文字)
20. ♪ポンジュース♪(3文字)
22. ガリガリ君の生まれたところ。(4文字)
23. 金沢21世紀ミュージアムと松井秀喜ベースボールミュージアムがあります。(4文字)
24. 「鳴くよ(794年)、うぐいす、平安京」(4文字)
26. 高円寺で有名な踊りの発祥地。(4文字)
28. DonDokoDonの人。(4文字)
35. 日本一の高さを誇る、人気ダムランキングの常連、黒部ダムがあります。(3文字)
39. 日本一大きな湖、琵琶湖があります。(2文字)

ヨコのカギ

1. 走り屋の間で有名な日光いろは坂があるけど、海がありません。(3文字)
3. 恐山がそびえたっています。(4文字)
5. 歌劇団と球児たちの夢とソースのないたこ焼きが有名です。(4文字)
7. アマテラスがこもった天岩戸がある。歌人若山牧水や作曲家J・A・シーザーの出身地。(4文字)
9. 源泉数・湧出量が世界第一位の別府温泉と源泉数世界第二位の湯布院温泉が有名。(4文字)
10. 日本一の芋煮会が開かれます。(4文字)
11. 最も多くの都道府県と隣接し、冬季オリンピックも開催しました。(3文字)
12. お茶やうなぎの産地で、世界一直線の長いサーキット富士スピードウェイがあります。(4文字)
14. 織田信長が城下町に楽市楽座を開きました。鵜飼も有名です。(2文字)
15. 黒潮海流で漁業が盛ん。勝浦漁港の生鮮マグロの水揚げ高は、日本一。(4文字)
19. 松坂牛はブランド牛のさががけです。また鈴鹿サーキットはモータースポーツの聖地です。(2文字)
21. 定禅寺通沿いにもお店が出来たほどブームを巻き起こした佐世保バーガー発祥の地。(4文字)
23. うまい棒の本社がある。(4文字)
25. 道路を「廊下」、各宿を「部屋」にみたて、温泉街全体を「一旅館」として景観デザインした黒川温泉が有名。(4文字)
27. 白虎隊が戦ったところ。(4文字)
29. 全国生産の90%を占めるほど眼鏡産業が盛んな県です。(3文字)
30. 日本の47都道府県中唯一の道。「でっかいどう」といえば？(6文字)
31. 九州で唯一、プロ野球球団の本拠地がある。(4文字)
32. ギネス級の絶叫アトラクションとそのネーミングセンスが魅力的な富士急ハイランドがあります。(4文字)
33. 日本で二番目に大きなところ。(3文字)
34. ハットリくんに似ている。(4文字)
36. ヤマダ電機の本社がある。(3文字)
37. 美味しんぼの主人公に似ている。(4文字)
38. 日本ではじめてハネムーンに行った人物の出身地。(3文字)
39. どじょうすくい饅頭。(3文字)
40. Udon★(3文字)

答えが分かった方は

e-mailにて、件名を「制活新聞 クロスワードパズル 答え」とし、氏名、年齢、メールアドレスを記入の上、office@smt.city.sendai.jp までお送りください。正解者は素敵な特典映像がもらえるかも?! (回答受付期間 2012年3月31日まで)

答え

A	B	C	D	E	F
---	---	---	---	---	---

みなさま、はじめまして。連載を始めることになりましたアベといひます。「耳」は、私の耳が聞いた話、その声、その言葉を編みながら、みなさんに何かをお届けしようという、いわゆるひとつの冒険です。よろしくお付き合いしようという、少しの間お付き合いくださいませ。今回お届けしますのは、制活新聞でおなじみの美術家の中崎透さんに関わりのお二人、澄川小百合さんと占谷彰悟さんのお話です。今年の夏、8月15日に開催された「8・15世界同時多発フェスティバルFUKUSHIMA」というフェスティバルの中のプロジェクトのひとつ、「福島大風冒険」に参加した際に、それを取りまとめた中崎さんから、これから「ミス」が来るよと聞いて、外国人が来るのかしら?と想像していたら、そこに現れたのが澄川小百合さん(すみずさん、ちなみに小学生からのあだ名だそう)。妖艶的、だったのです。そこで、すみずさんから、中崎さんが参加しているアーティストユニット Nagagata Instant Party (以下、ナデガタ)のことを聞いて、中崎さんって、なんだかおもしろそうなのこととして、いる人なんだなと思ったのが、「制活編集支援室」に参加するきっかけにもなったのでした。福島で聞いた「天井に吊るされたバナナをとるために、ギヤラーの床を70センチ底上げした」という話、それって一体どういうこと?その話をもっと聞いてみたい!ナデガタにも興味津々!しかも、せっかくなので制活にも参加して、新聞に連載を持つことにもなったことだし、まずは中崎さんについても何かお伝えできたらいいな!というわけで、今回、すみずさんにお話を聞かせてもらうことに決めました。すみずさんからは快諾をいただき、さて!というところで、すみずさんから、ナデガタを知っている友達も一緒にいいですか?と。そこで一緒に話を聞かせてもらったのが「おじょうこ」と、古谷彰悟さん(あだ名は、とたんギヤラー)の常連、小学生のみなちゃん命名。ナデガタで定着、中性的)ナデガタによく参加している人といえば「おじょう」ナデガタ周辺では有名な人で、作品の一部と書かれているほど。お二人から、お話を聞いてきました。

お二人がナデガタと関わるきっかけは?
おじょう(以下、お) 一番最初のナデガタの展示「インストール・パーティー」に参加しました。公開制作が一週間、展示期間が一週間くらいあって、二週間くらいはじつといて。参加した理由は、阿佐ヶ谷にあった、とたんギヤラー(2)に高校3年生の秋ころから入り浸るようになって。もともと古い家が好きで、阿佐ヶ谷住宅を調べていたら、とたんギヤラーのことを知って、それまで美術にまったく興味なかったんで、しかも、阿佐ヶ谷住宅の中に入るんだ!という動機で、しかも、ギヤラーって無料で入れる。そのオーナーさんがおもしろい人で、「何回でも来ていいよ」って言ってくれて、それで何回も行っていたら、お茶くみしたり、作家さんが入れ替わるときにおそうじしたりとか、ボランティアスタッフみたいなこともするようになって。オーナーさんから、「今度はおもしろい、変な人たちが来るよ」って言われて、それがナデガタだった。それが大正解!わ、床を崩して、この人たち!

床を底上げするっていうプロジェクトですか?
お 天井に吊るされたバナナをとるために、ギヤラーの床を70センチ底上げするっていう、その床をつくるどころから公開していったんです。それまでアートってよくわからないなと思ってはいたんですけど、ナデガタに触れたら一気にアートの敷居が下がって、うわ、

